

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 全身性強皮症に伴う間質性肺疾患における長期的なKL-6の推移と努力性肺活量の相関関係についての検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 武井玲生仁

[研究の背景] 全身性強皮症 (SSc) は皮膚及び様々な臓器の線維化、末梢循環障害、自己抗体産生の3つを特徴として併せ持つ疾患である。間質性肺疾患 (ILD) はSScの重要な合併症の一つであり、最も多い死因と報告されている。さらにはSScに伴うILD (SSc-ILD) は、進行性に線維化を示すILDの一つのフェノタイプとも知られており、経時的な疾患進行に着目することが重要視されている。SSc-ILDでは、KL-6の上昇がILDの進展リスク因子であることや、肺機能の推移を予測することが報告されている。しかし、長期的なKL-6の推移をまとめた報告や肺機能の推移との相関関係を検討した報告はない。

[研究の目的] SSc-ILDにおける長期的なKL-6の推移や、努力性肺活量 (FVC) との相関関係を検討し、KL-6の変化からFVC低下を予測可能か検証することを目的とした。

[研究の方法] 対象：2008年4月から2019年9月にSSc-ILDと診断した方。
利用する検体、カルテ情報：

年齢、身長、体重、性別、喫煙歴、基礎疾患、血液検査、画像検査、病理検査、肺機能検査、気管支鏡検査、6分間歩行試験、呼吸困難感、運動耐容能、生活関連QOL

[研究期間] 研究期間：倫理委員会承認日～2023年12月

[研究組織] この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い] 検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 武井玲生仁
電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139